

こんな心配はありませんか？

がんの患者さんの多くは、モルヒネのような「医療用麻薬」の使用を恐れています

麻薬中毒者のように気が狂ってしまう

麻薬を使うといつか効かなくなる

麻薬を使うと寿命が縮む

麻薬を使うのは、「末期」のがん患者だけだ

麻薬を使うともうおしまいだ



「これらはすべて、根拠のない迷信です」



Q 麻薬を使うと中毒になりますか？

A 「いいえ、違います」

医療用麻薬の中毒は500人に1人以下でしか生じないことがわかっています。医療用麻薬の中毒は「痛みのない方が、医師の指導なく」乱用したときに生じます

Q 麻薬を使うと寿命がちぢむのですか？

A 「いいえ、違います」

痛みに対して、医療用麻薬を使った多くの患者さんの調査では、麻薬の使用量が大量であった人と、そうではなかった人との間に寿命の長さに変わりがなかったことがわかっています

治療の目標は

- 痛みがなく、夜眠れる
- 静かにしていれば痛くない
- 歩いたりからだを動かしたりしても痛くない

治療は、

月 日

1～3日後に見直します

説明を受けた方

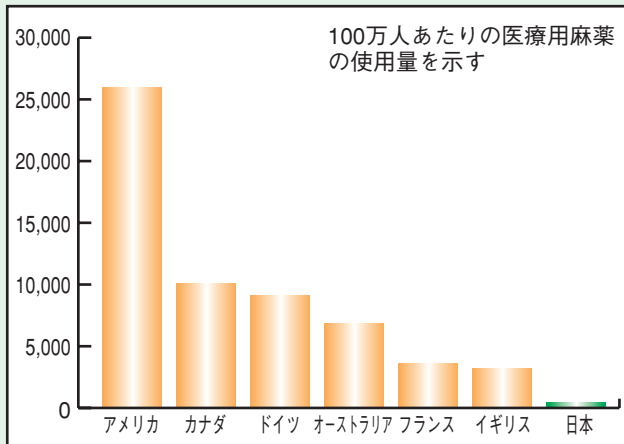
説明をした人

月 日

Q 医療用麻薬とは何ですか？

- 医療用麻薬は全世界で使われています。日本では、他の国に比べて使用量が少なくなっています

世界の医療用麻薬使用量



●生活上の注意

- ・子どもさんの手の届かない所へ保管しましょう
- ・決められた時間に服用できないときは医師に相談してください
- ・自分の判断で服用を中断しないでください。有害な反応が現れることがあります



A 医療用麻薬とは、こういうものです

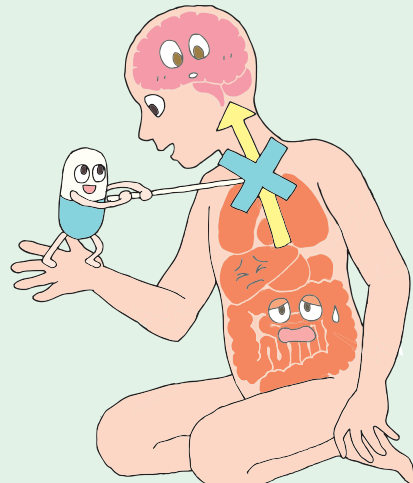
- いろいろな種類の医療用麻薬が使えます

モルヒネ	錠剤、カプセル、粉ぐすり、坐薬、注射
オキシコドン	錠剤、粉ぐすり、注射
フェンタニル	注射、貼りぐすり

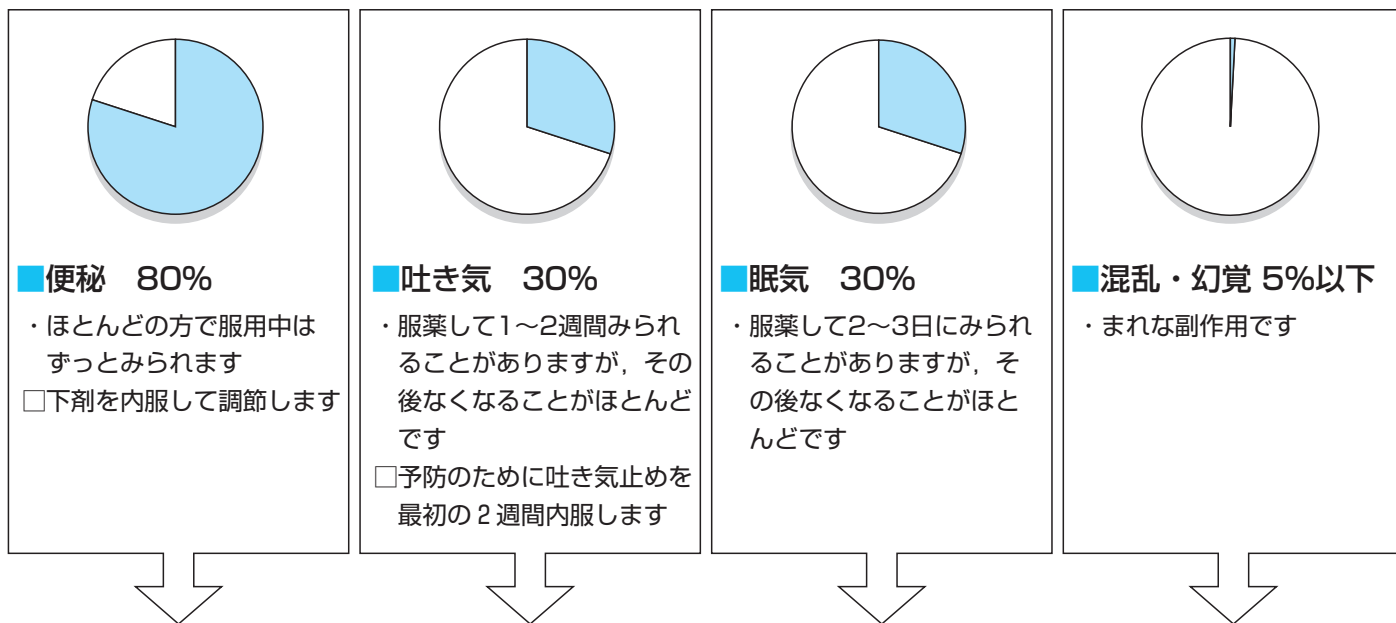


- 痛みを伝える神経に作用して痛みをやわらげます

- ・バファリンのような一般的な鎮痛薬とは作用する場所がちがうので、一緒に使用するほうが効果的です
- ・胃潰瘍など胃腸の粘膜を傷つけることはありません
- ・中毒になったり、寿命が短くなったりすることはありません
- ・早くから使っても効かなくなることはありません
- ・主な副作用は、便秘・吐き気・眠気ですが、きめ細かく対応すれば対処できます



医療用麻薬には、他のくすりと同じように副作用がありますが、
医師と相談しながら、きちんときめ細かく対応すれば大丈夫です



生じた場合の対応

<input type="checkbox"/> 下剤を増やしたり、2種類 以上の下剤を組み合わせたり します	<input type="checkbox"/> 軽度なら数日以内におさまるので様子をご覧ください <input type="checkbox"/> ひどければ連絡してください <input type="checkbox"/> 他の吐き気止めを追加します <input type="checkbox"/> 他の医療用麻薬に変更します <input type="checkbox"/> 使用量を減らします <input type="checkbox"/> 他の吐き気・眠気の場合の原因がないか確認します	<input type="checkbox"/> 連絡してください。おくす りがからだに合わないので、 中止します <input type="checkbox"/> 別のおくすりに変更します
---	---	--



医療用麻薬の治療は、

- ・「痛み」をとることと「副作用」を予防することの2つが大切です
- ・「痛み」と「副作用」のバランスをいつも確かめ合みましょう



こんなときは連絡してください

- 頓用薬（レスキュー）を回数分使用しても痛みがとれない
- 嘔吐がひどく、水分をとることができない
- 眠気が強く、会話の途中や食事中にも眠ってしまう
- 混乱した会話や行動をする、幻覚がある
-



